

ホワイト アンド ケース東京事務所
パートナー

在日米国商工会議所代表

ロバート F グロンディン

エンロン事件から習得できるコ ーポレートガバナンスの課題

Innovative solutions

for dynamic markets

一つの法律事務所が全世界を

one law firm around the world

una sola firma de abogados alrededor del mundo

en advokatfirma för hela världen

ОДИНИ ЮРИСТЫ РАБОТАЮТ
ПО ВСЕМУ МИРУ

un seul et même cabinet à travers le monde

环球规模 一体服务

時代が変わっても旧態依然

意図的な不正はすべての市場で根強く存在する

年以降上場株式市場から不正を追放する動きが続く。

スキャンダルは世界各地で定期的に発生する。

アメリカ型コーポレートガバナンスの展開

年代にセクションによる
拠出プランが出現

機関投資家の要望の高まりと投資
信託の増加

年代に社外取締役が増加

4. 1990年代初めのGM取締役会による
最高経営責任者追放を契機に投資家
の活動が活発化

ニューヨーク証券取引所規制の展開
証券取引委員会の監督

要約： 資本市場主導によるアメリカ
型コーポレートガバナンスの向上

エンロン事件の勃発

A. 2001年エンロン社はフォーブス誌により収入規模米国第 位にランクされた

規制緩和を受けて、 年に小規模なガス・パイプライン会社からスタートして、合併・吸収により急成長
さらなる規制緩和を受けた市場改革
— 年代半ばからガス・電気取引
開始

年代半ばから、電力プロジェクト
から他のユーティリティーへと大規模
な国際展開

さらなる市場改革をめざした電気通
信業界向けの帯域幅取引

年から 年にかけての金融
取引改革に誘発された高成長

高成長継続の圧力

インドにおける失敗

転落の始まりーカルパース・ファンド
立ち上げのため、順調に運用されていた
カルパース・ファンド の解散を余
儀なくされた。

過去5年分の財務諸表を組み直す影
響

迂回の解決とその規則の結末

「プライベート」パートナーシップ

利害相反の開示

投資銀行の関与

市場の開示

監督、リスク管理の不足

取締役会は何をしていたのか？

最高経営責任者ケン・レイの弁明：

「知らなかった」

内部監査 リスク管理機能

外部監査機能

外部法務機能

学んだ教訓

取締役会の独立性

家族以外でも不十分な独立性

客観性： 更迭による刷新の必要性

任命手続

損害賠償責任

取締役及び役員への保険

役員の責務

現行法

損害賠償事案の増加に即時対応した結果、監査証明を義務化

インサイダー取引とストックオプション実施、コントロール

刑事、民事違反に対する処罰

これまで処罰が行われていない理由？

会計基準

新セクターに関する新規則策定の手続き

会計に関する業界監督新機関
議会と証券取引委員会の役割

(一般に公正妥当と認められている会計原則)は科学ではなく、大きな判断を要するものである。

会計原則

コンサルティングに関する利害相反

内部意見統制及び内部審査

客観性及び刷新の提案

死刑

投資銀行

報酬制度により生じたアナリストの利害相反

情報隠蔽

現代アメリカ社会に及ぼされている影響

市場はより高い透明性を求めている：
リスク及び会計方針の開示 格付け

罰金の引き上げ、役員・取締役の損害賠償責任

取締役会の独立性向上

リスク分析と開示の促進

報酬開示の促進と報酬の減額

日本との関連性

市場はより高い透明性を求めている。
会社に対する罰金の引き上げ、個人
の賠償責任の低減？

取締役会の独立性向上

リスク分析と開示の促進

報酬開示の促進と報酬の減額？